



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

定時株主総会開催予定日 2019年6月25日

配当支払開始予定日

2019年6月11日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	90,701	3.6	2,058	17.0	2,225	31.9	1,038	25.0
2018年3月期	87,535	4.7	1,759	10.6	1,686	18.4	831	90.6

(注) 包括利益 2019年3月期 418百万円 (58.9%) 2018年3月期 1,018百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	110.79		6.1	3.1	2.3
2018年3月期	88.72		4.9	2.6	2.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 39百万円 2018年3月期 49百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	71,297	18,779	23.7	1,800.88
2018年3月期	70,480	19,052	24.1	1,809.06

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,888百万円 2018年3月期 16,965百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,821	8,225	2,541	9,976
2018年3月期	5,492	4,258	5,697	13,130

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		43.33	43.33	406	48.8	2.4
2019年3月期		0.00		29.00	29.00	271	26.2	1.6
2020年3月期(予想)		0.00		29.00	29.00		13.6	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.9	2,100	2.0	2,250	1.1	2,000	92.5	213.27

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	9,378,600 株	2018年3月期	9,378,600 株
期末自己株式数	2019年3月期	628 株	2018年3月期	624 株
期中平均株式数	2019年3月期	9,377,974 株	2018年3月期	9,366,806 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	52,323	4.2	620	92.4	1,617	421.6	1,189	
2018年3月期	50,206	10.5	322	283.8	310	2.0	1,131	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	126.87	
2018年3月期	120.80	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	47,049	9,952	21.2	1,061.28
2018年3月期	45,893	9,223	20.1	983.55

(参考) 自己資本 2019年3月期 9,952百万円 2018年3月期 9,223百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感等により世界経済の不確実性が増しており、国内においても堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に一服感が見られ、景気回復基調が崩れつつあります。

当社グループの属する自動車業界の概況は堅調に推移して参りましたが、海外における不確実性が増す中で先行きに不透明感が出てきております。

このような情勢の中、当連結会計年度の売上高は、国内におけるミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増や新規車種立上げ効果等により90,701百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

営業利益は、新規車種立上げ効果や生産合理化効果等により2,058百万円（前年同期比17.0%増）となりました。経常利益は、営業利益増及び国内設備投資に関連する補助金収入228百万円を主因として、2,225百万円（前年同期比31.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、1,038百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、ミリ波レーダーカバー、電装品等の販売増や新規車種立上げ効果等により69,078百万円（前年同期比4.9%増）となりました。セグメント利益は、新規立ち上がり車種の効果等により1,507百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産が堅調に推移したこと等により11,646百万円（前年同期比1.3%増）となりました。セグメント利益は、中国における競争激化の影響等により1,035百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産減の影響等により9,976百万円（前年同期比2.1%減）となりました。セグメント損失は、米国子会社における新設事業の準備費用の計上等あったものの、英国子会社の現場改善効果等により前年同期比39百万円改善し、554百万円（前年同期は593百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は71,297百万円となり前連結会計年度末比で816百万円の増加となりました。このうち、流動資産は38,575百万円となり前連結会計年度末比で1,674百万円減少しました。固定資産は32,721百万円となり前連結会計年度末比で2,490百万円増加しました。流動資産の主な増減は、現金及び預金の減少3,153百万円、受取手形及び売掛金の増加1,173百万円等であります。固定資産の主な増減は、有形固定資産の増加3,176百万円、投資有価証券の減少908百万円等であります。有形固定資産の増加は、主に九州工場及び栃北九州ファルテック等における競争力強化のための設備投資によるものであります。投資有価証券の減少は、主に栃北九州ファルテックの新規連結等によるものであります。

負債は52,517百万円となり前連結会計年度末比で1,089百万円の増加となりました。このうち、流動負債は36,808百万円となり前連結会計年度末比で865百万円減少しました。固定負債は15,709百万円となり前連結会計年度末比で1,954百万円増加しました。流動負債の主な増減は、1年内返済予定の長期借入金の増加2,664百万円、電子記録債務の増加1,693百万円、支払手形及び買掛金の減少2,645百万円、短期借入金の減少1,392百万円、リース債務（短期）の減少579百万円等であります。固定負債の主な増減は、長期借入金の増加2,729百万円、退職給付に係る負債の減少498百万円等であります。

純資産は18,779百万円となり前連結会計年度末比で272百万円の減少となりました。主な増減は、利益剰余金の増加625百万円、為替換算調整勘定の減少621百万円、非支配株主持分の減少196百万円等であります。利益剰余金の増加は、剰余金の配当による減少406百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益1,038百万円によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は23.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は9,976百万円となり、前連結会計年度末比で3,153百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,821百万円（前連結会計年度比3,671百万円減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前当期純利益2,174百万円、減価償却費4,093百万円であります。主な資金の減少は、売上債権の増加1,420百万円、法人税等の支払1,047百万円、仕入債務の減少798百万円、たな卸資産の増加581百万円、退職給付に係る負債の減少520百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、8,225百万円（前連結会計年度比3,966百万円増）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出8,370百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により調達した資金は、2,541百万円（前連結会計年度比3,155百万円減）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入8,100百万円、長期借入金の返済による支出2,665百万円、短期借入金の純減少額1,358百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1,314百万円であります。

(4) 今後の見通し

2020年3月期の業績見通しにつきましては、売上高89,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円を見込んでおります。

なお上記業績見通しの中には、2019年3月28日の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」にて公表致しました特別利益を見込んでおります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社と子会社11社及び関連会社1社で構成されており、自動車外装部品、自動車純正用品、自動車関連機器事業を主な事業としております。当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係わる位置付けは以下のとおりであります。

地域セグメント	事業内容	主な商品・サービス	事業会社*1
日本 (5社)	自動車外装部品	ラジエターグリル ミリ波レーダーカバー ウィンドウモール等	当社 (株) テクノサッシュ ◎ (株) 北九州ファルテック ◎ (株) いしかわファルテック ○
	自動車純正用品	リモコンエンジンスターター リアビューカメラ等	
	自動車関連機器	車検用機器 タイヤ組立装置 エンジンユニット等	(株) アルティア ◎
アジア (5社) *2	自動車外装部品	ラジエターグリル ウィンドウモール等	佛山發爾特克汽車零部件有限公司 ◎ 湖北發爾特克汽車零部件有限公司 ◎ 広東發爾特克汽車用品有限公司 ◎ FALTEC SRG GLOBAL (THAILAND) CO., LTD ◎
	自動車純正用品	ルーフレール等	
	自動車関連機器	車検用機器	広州愛路特亜汽車設備有限公司 ●
北米他 (2社)	自動車外装部品	ウィンドウモール ラジエターグリル ミリ波レーダーカバー等	FALTEC AMERICA, INC ◎ FALTEC EUROPE LIMITED ◎
	自動車純正用品	ルーフレール フロアカーペット等	

*1 ◎連結子会社、○持分法適用会社、●非連結子会社

*2 他1社（非連結子会社）については当社グループの事業に与える影響が軽微なため記載しておりません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,130	9,976
受取手形及び売掛金	18,752	19,926
商品及び製品	3,067	3,367
仕掛品	664	568
原材料及び貯蔵品	2,717	2,993
その他	1,932	1,757
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	40,250	38,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,155	9,425
機械装置及び運搬具（純額）	5,762	8,373
工具、器具及び備品（純額）	1,271	1,281
土地	6,991	6,983
リース資産（純額）	1,844	940
建設仮勘定	3,611	1,810
有形固定資産合計	25,637	28,814
無形固定資産	1,070	1,093
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233	324
繰延税金資産	2,038	1,933
その他	257	561
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,522	2,813
固定資産合計	30,230	32,721
資産合計	70,480	71,297

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,759	9,114
電子記録債務	4,233	5,927
短期借入金	11,105	9,713
1年内返済予定の長期借入金	2,480	5,144
リース債務	1,282	703
未払法人税等	580	298
賞与引当金	800	949
課徴金引当金	249	-
その他	5,182	4,957
流動負債合計	37,673	36,808
固定負債		
長期借入金	6,044	8,773
リース債務	537	192
退職給付に係る負債	5,949	5,451
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	216	285
固定負債合計	13,755	15,709
負債合計	51,428	52,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,042	11,668
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,942	14,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	79
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,851	1,229
退職給付に係る調整累計額	△898	△923
その他の包括利益累計額合計	3,022	2,320
非支配株主持分	2,086	1,890
純資産合計	19,052	18,779
負債純資産合計	70,480	71,297

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	87,535	90,701
売上原価	75,787	78,358
売上総利益	11,747	12,342
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,153	2,151
給料及び手当	3,362	3,271
賞与引当金繰入額	271	340
退職給付費用	271	212
その他	3,929	4,308
販売費及び一般管理費合計	9,988	10,284
営業利益	1,759	2,058
営業外収益		
受取利息	18	33
受取配当金	31	9
持分法による投資利益	49	39
補助金収入	-	228
未払配当金除斥益	-	53
その他	138	142
営業外収益合計	238	506
営業外費用		
支払利息	164	205
為替差損	111	58
その他	35	76
営業外費用合計	311	340
経常利益	1,686	2,225
特別利益		
減損損失戻入益	-	90
投資有価証券売却益	1,412	-
補助金収入	127	-
特別利益合計	1,539	90
特別損失		
固定資産除売却損	31	40
減損損失	330	100
特別調査費用	583	-
特別損失合計	945	141
税金等調整前当期純利益	2,280	2,174
法人税、住民税及び事業税	777	788
法人税等調整額	371	147
法人税等合計	1,149	936
当期純利益	1,131	1,238
非支配株主に帰属する当期純利益	300	199
親会社株主に帰属する当期純利益	831	1,038

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,131	1,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△654	△54
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	75	△739
退職給付に係る調整額	465	△25
その他の包括利益合計	△112	△819
包括利益	1,018	418
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	640	337
非支配株主に係る包括利益	378	81

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,265	583	10,616	△0	13,465
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	25	25			50
剰余金の配当			△404		△404
親会社株主に帰属する当期純利益			831		831
自己株式の取得					-
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	25	25	426	-	477
当期末残高	2,291	609	11,042	△0	13,942

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	788	△1	1,935	1,853	△1,363	3,213	1,708	18,387
当期変動額								
新株の発行（新株予約権の行使）						-		50
剰余金の配当						-		△404
親会社株主に帰属する当期純利益						-		831
自己株式の取得						-		-
連結範囲の変動						-		-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△654	0	-	△2	465	△190	378	187
当期変動額合計	△654	0	-	△2	465	△190	378	664
当期末残高	134	△0	1,935	1,851	△898	3,022	2,086	19,052

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,291	609	11,042	△0	13,942
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					-
剰余金の配当			△406		△406
親会社株主に帰属する当期純利益			1,038		1,038
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△7		△7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	-	625	△0	625
当期末残高	2,291	609	11,668	△0	14,568

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	134	△0	1,935	1,851	△898	3,022	2,086	19,052
当期変動額								
新株の発行（新株予約権の行使）						-		-
剰余金の配当						-		△406
親会社株主に帰属する当期純利益						-		1,038
自己株式の取得						-		△0
連結範囲の変動						-		△7
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△54	0		△621	△25	△701	△196	△897
当期変動額合計	△54	0	-	△621	△25	△701	△196	△272
当期末残高	79	△0	1,935	1,229	△923	2,320	1,890	18,779

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,280	2,174
減価償却費	3,994	4,093
のれん償却額	8	8
減損損失	330	100
減損損失戻入益	-	△90
賞与引当金の増減額（△は減少）	△32	152
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△926	△520
受取利息及び受取配当金	△49	△42
支払利息	164	205
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,412	-
持分法による投資損益（△は益）	△49	△39
固定資産除売却損益（△は益）	31	40
売上債権の増減額（△は増加）	△550	△1,420
たな卸資産の増減額（△は増加）	△660	△581
仕入債務の増減額（△は減少）	2,369	△798
その他	611	△22
小計	6,110	3,260
利息及び配当金の受取額	49	42
利息の支払額	△164	△198
課徴金の支払額	-	△235
法人税等の支払額	△502	△1,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,492	1,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,572	△8,370
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,696	-
投資有価証券の取得による支出	△871	△1
投資有価証券の売却による収入	1,574	-
長期前払費用の取得による支出	△45	△162
その他	△40	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,258	△8,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	8,487	△1,358
長期借入れによる収入	1,798	8,100
長期借入金の返済による支出	△2,668	△2,665
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,566	△1,314
セール・アンド・リースバックによる収入	-	493
ストックオプションの行使による収入	50	-
非支配株主への配当金の支払額	-	△306
配当金の支払額	△404	△406
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,697	2,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	△185
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,023	△4,047
現金及び現金同等物の期首残高	6,106	13,130
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	893
現金及び現金同等物の期末残高	13,130	9,976

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10以下のため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「助成金収入」に表示しておりました48百万円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「貸倒引当金の増減額」及び「為替差損益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「貸倒引当金の増減額」に表示しておりました△2百万円、「為替差損益」に表示しておりました10百万円は、「その他」として組み替えております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が620百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が604百万円増加しております。また、「固定負債」の「その他の固定負債」が15百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が15百万円減少しております。

(追加情報)

(固定資産の譲渡)

2019年3月28日開催の取締役会において、当社保有の固定資産を譲渡することについて決議しました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用および財務体質の強化を図るため、固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容および所在地	譲渡益	現況
神奈川県綾瀬市深谷上8丁目24番4号 土地 11,694.18㎡ 建物 8,987.91㎡(延床面積)	約15億円	物流センター

なお、上記の譲渡益は、譲渡に係る費用等の見込み額を控除した概算額を記載しています。

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先の意向により開示を控えていただきます。なお、譲渡先と当社の間には特記すべき資本関係、人的関係および取引関係はありません。また、譲渡先は当社の関連当事者には該当しません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	2019年3月28日
譲渡契約締結日	2019年3月29日
譲渡引渡日	2019年9月27日（予定）

5. その他

当該固定資産の譲渡により、引渡日の属する2020年3月期決算(連結・個別)において、約15億円を特別利益として計上する見込みです。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価する構成単位からなっております。

国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、「日本」、「アジア」及び「北米他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,854	11,495	10,185	87,535	-	87,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,682	63	32	1,778	△1,778	-
計	67,537	11,558	10,218	89,313	△1,778	87,535
セグメント利益又は損失 (△)	1,320	1,049	△593	1,776	△17	1,759
セグメント資産	58,184	13,036	8,762	79,983	△9,502	70,480
その他の項目						
減価償却費	2,987	741	266	3,995	△0	3,994
のれん償却額	8	-	-	8	-	8
減損損失	313	17	-	330	-	330
持分法適用会社への投資額	-	-	-	-	-	-
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	3,837	692	1,884	6,413	-	6,413

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,078	11,646	9,976	90,701	-	90,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,051	218	25	1,294	△1,294	-
計	70,129	11,864	10,001	91,995	△1,294	90,701
セグメント利益又は損失 (△)	1,507	1,035	△554	1,988	70	2,058
セグメント資産	61,514	11,862	7,859	81,235	△9,938	71,297
その他の項目						
減価償却費	2,938	787	370	4,096	△3	4,093
のれん償却額	8	-	-	8	-	8
減損損失	2	5	93	100	-	100
持分法適用会社への投資額	69	-	-	69	-	69
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	6,720	314	895	7,930	-	7,930

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,809.06円	1,800.88円
1株当たり当期純利益	88.72円	110.79円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	831	1,038
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	831	1,038
普通株式の期中平均株式数（株）	9,366,806	9,377,974

（重要な後発事象）

該当事項はありません。